

# Encourage & Company

皆さんこんにちは。  
エンカレッジアンドカンパニーの堀です。

私のコラムでは、中国の故事成語について、我々の日常に何か応用できないか、という観点でシリーズとして書き綴っています。

第12回目は「不如意」についてです。

曹操は劉備との戦いでいつか関羽を捕虜にしていた時があります。  
英雄は英雄を知るとおり、なんとか関羽のような人物から心服されたいと  
曹操はつぶやいたりもしました。  
劉備が生きていたことを知り、関羽が曹操のもとを離れる時に、  
思い虚しく曹操は関羽にこう言います。

「君のような純忠の士を、幾月か都へ留めておいただけでも、都の土風はたしかに良化された。また曹操も、どれほど君から学ぶところが多かったか知れぬ。ただ君と予との因縁薄うして、いま人生の中道に袂をわかつ。これは淋しいことに違いないが、考え方によっては、人生のおもしろさもまたこの不如意のうちにある（吉川英治三国志）。」

不如意とは、意の如くならず、思い通りにならない、という意味です。  
曹操の言うように全てが自分の思い通りになったら、逆に人生は面白くないのかもしれない。

話しは変わって、我々には自分が制御できない領域がかなりたくさんあります。  
自分の鼓動を止められないように、体温を高くも低くもできないように、  
内面的な領域は身体よりも更に制御できない領域が大きいかもしれません。

曹操の言う面白い不如意ではなく、悲しい結末になる不如意についてが本題です。

上司の立場で部下を見た時に、高学歴にもかかわらず、仕事ができない人・・・いますね。何が原因でそういう現象が起こるのか、いつも気にしていました。

本質は静的（状況や時の経過にかかわらず答えが1つ）な能力は高いが、  
動的（状況や時の経過により最適解が常に違う）な能力が低いことだと思います。

その特徴があてはまる部下にアドバイスして返ってくる反応は2つで、  
①今までそんなこと考えたこともありませんでした！

# Encourage & Company

②ハイわかりました（過去に何度も他の人にも言われた感じ）  
そしていずれにしてもアドバイス虚しく同じミスを何度も繰り返す。

いや、たまにアドバイスどおりにやってくれる人もいます。  
今までそんなこと考えたこともありませんでした！の人が  
本当にアドバイスを実行してくれると上司の立場の人も嬉しく思うでしょう。  
過去に、歌舞伎町で毎晩ナンパして他人の気持ちを察する訓練したら？  
を実践してくれた人もいました。  
しかしやはり、ハイわかりましたとバツの悪そうな顔をしている人の方が大半だと思います。

読んで頂いているほとんどの人が上司の立場の人だと思いますが、  
②タイプの部下になんてアドバイスをしますかね。  
②タイプの本質はアドバイスを頭では分かっているのに、できない or やらない人だと思います。

過去に「なりきりブレーストーミング」みたいな方法を読んだことがあります。  
ただブレーストーミングするのではなく、例えばルフィーだったらこう考えるだろう  
なとか、ゾロだったらこう言うだろうなとか、アニメのキャラクターにそれぞれがなり  
きってブレーストーミングすると今までにないアイデアが出るというものです。

それが記憶にあったので、大学の尊敬する先輩ならこの逆境をどう乗り越えたかな、  
父母はこんな時どうしたかな、となりきって考えて自分の答えとしたと部下にアドバイ  
スしました。そして今、きみはお客様になりきって自分の仕事を考えるべきではないか  
と力みました。

しかし・・・ダメでしょう。  
頭ではわかっててもできないのです。  
まるで勉強と同じ。勉強しなきゃいけないとわかっているのに、できない or やらない。  
この本質とこの不如意はよく似ています。

堀 洋三

-バックナンバー中国故事成語をビジネスに応用する-  
第1回目は「牛耳る」  
第2回目は「鳴かず飛ばず」

# Encourage & Company

第3回目は「司馬懿仲達」

第4回目は「我れ鳥獸にあらず」

第5回目は「国士無双」「狡兔死して走狗煮らる」

第6回目は「鼓腹撃壤」

第7回目は「外戚」

第8回目は「論語①」

第9回目は「東郭先生と狼」

第10回目は「孫子の兵法」

第11回目は「漢中（場所）」